滝川市まち・ひと・しごと創生総合戦略

～　「地域力」×「食」×「自然」　たきかわ創生　～

平成２７年１０月策定

平成２８年８月第１回改訂

平成２９年７月第２回改訂

平成３０年７月第３回改訂

滝川市

【 目 次 】

1． 総合戦略の基本的考え方 1

1-1 総合戦略策定の目的 1

1-2 総合計画との関連 1

1-3 国、北海道の計画概要 2

1-4 将来人口 3

1-5 計画期間 4

1-6 総合戦略のフォローアップ 4

2． 基本方針 5

2-1 着目した滝川市のポテンシャル 5

2-2 基本的な考え方 6

2-3 基本目標 7

3． 施策の展開 9

3-1 農と食を活かした雇用創出と地域産業の育成・支援 10

3-2 すべての子どもの成長の支えと教育環境の構築 17

3-3 プラチナ・コミュニティの形成と暮らしやすさの追求 21

4． 重点プロジェクト 25

4-1 冬を克服し、農業・食で通年雇用できる就業環境の創出 25

4-2 しごとの魅力発信と総合的な就業・移住支援 26

5． 総合戦略の推進に向けて 27

1. 総合戦略の基本的考え方

1-1 総合戦略策定の目的

我が国における人口減少や急速な少子高齢化に的確に対応し、特に、地方の人口の減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口の過度の集中を是正し、将来にわたって活力ある社会を維持していくことを目的として、平成 26 年 11 月に「まち・ひと・しごと創生法」が成立しました。

この法律では、市町村は地域の実情に応じたまち・ひと・しごと創生に関する施策の基本的な計画を定めるよう努めることとされています。

本市では、平成 23 年度に策定した「滝川市総合計画」に基づき、今後想定される人口減少をできる限り食い止め、魅力あるまちづくりを地域一体となって進めるとともに、「世界に誇れる国際田園都市」を将来都市像に据え、行ってみたい・住んでみたいまち、賑わいと活力のあるまちを目指して各種施策に取り組んでいます。

また、本市は、米を中心とした基幹産業としての農業、複数体制での教育や少人数学級などの特徴的な教育環境、充実した医療・福祉施設、盛んに行われている国際交流、江部乙地域を中心とした美しい景観など、活かすべき資源とその独自性を最大限に活用し、人口減少問題の克服と将来に向けた成長力の確保を図るため、「滝川市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下、「総合戦略」という。）」を策定します。

1-2 総合計画との関連

総合戦略は、市の最上位計画である滝川市総合計画の将来都市像・まちづくりの基本目標を踏まえ、滝川市人口ビジョンにおいて定めた将来人口を見据えながら、人口減少の克服や地方創生に関する重要な関連計画と位置付け、施策を推進します。

◆滝川市総合計画の概要　計画期間【平成24年度～平成33年度】

(1) 平成 32 年の総人口は 37,299 人となり、高齢化が一層進む見通し

(2) 地域特性・優位性
- 交通拠点
- 恵まれた自然環境
- 公共施設の集積
- 滝川ブランドの可能性
- 江部乙・東滝川地域の可能性
- 充実した医療・福祉施設
- 活発な市民活動など

(3) 人口減少と高齢化により、財政はさらに厳しくなる見通し

将来都市像

世界に誇れる国際田園都市

まちづくりの基本目標

1. 元気な産業と活力あるまちづくり
2. 豊かな資源を活かした魅力あふれるまちづくり
3. 機能的な生活基盤の充実したまちづくり
4. 誰もが住みよい安全安心なまちづくり
5. 未来へはばたく子どもたちを育むまちづくり
6. 市民が活躍するまちづくり

1-3 国、北海道の計画概要

国、北海道が策定した「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本的な考え方と整合を図り、本市におけるまち・ひと・しごとの創生と好循環の確立を目指します。

（１）国の総合戦略の基本的考え方

①人口減少と地域経済縮小の克服

地方における人口減少による地域経済の縮小、また、さらなる人口減少の加速という負のスパイラルを解消し、人口減少を克服して地方創生を図る。

①東京への一極集中を是正する
②若い世代の就労・結婚・子育ての希望を実現する
③地域の特性に即して地域課題を解決する

②まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立

「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む好循環を確立し、好循環を支える「まち」に活力を取り戻す。

①しごとの創生：若い世代が安心して働ける「雇用の質」を重視
②ひとの創生　：若者の就労、移住・定着など、地方への新しい人の流れをつくる
③まちの創生　：地域特性に即した課題解決により、安心して暮らせる環境をつくる

（２）北海道の総合戦略（原案）の基本的考え方

①重点戦略プロジェクト：特に重点的に進めていくべきテーマ

１．安心のまち・暮らし「住まいる北海道」プロジェクト
２．北のめぐみ「資源・ひと・経済好循環」創出プロジェクト
３．未来を拓く「攻めの農・林・水産業」確立プロジェクト
４．輝く「アジアのＨＯＫＫＡＩＤＯ」創造プロジェクト
５．多様な交流・連携と「北海道型地域自律圏」形成プロジェクト

②基本戦略：総合的に施策を推進する５つの柱

１．子どもを生み育てたいという希望をかなえる
２．住み続けたいと思える生活環境を整える
３．食や観光をはじめとする力強い産業と雇用の場をつくる
４．北海道らしさを活かして人を呼び込み・呼び戻す
５．多様性を活かし、北海道らしい連携により地域を形づくる

③地域戦略（空知地域の主な施策）：振興局が中心となって進める施策の基本的な方向性

・米どころ空知の農業と関連産業の振興
・地域の特性を活かした企業等の誘致とものづくり人材の確保・定着の促進
・安心で住み良い暮らしのできる地域の形成促進
・炭鉱（やま）の記憶やワインなどの地域資源を活用した多様なタイプの交流の促進

1-4 将来人口

滝川市人口ビジョンにより、総合戦略で目指す総人口の長期展望は（滝川市独自推計）、合計特殊出生率[1]が 2030 年（平成 42 年）までに 1.8 まで上昇して維持し、純移動率[2]が 2020 年（平成 32 年）以降均衡すると仮定した場合、2040 年の総人口が約 33,200 人、2060 年の総人口が約 27,000 人となり、国立社会保障・人口問題研究所（以下、「社人研」という。）の推計と比較し、人口減少を大幅に抑える見込みとなっています。

◆人口推計のパターン

【推計１：滝川市独自推計】

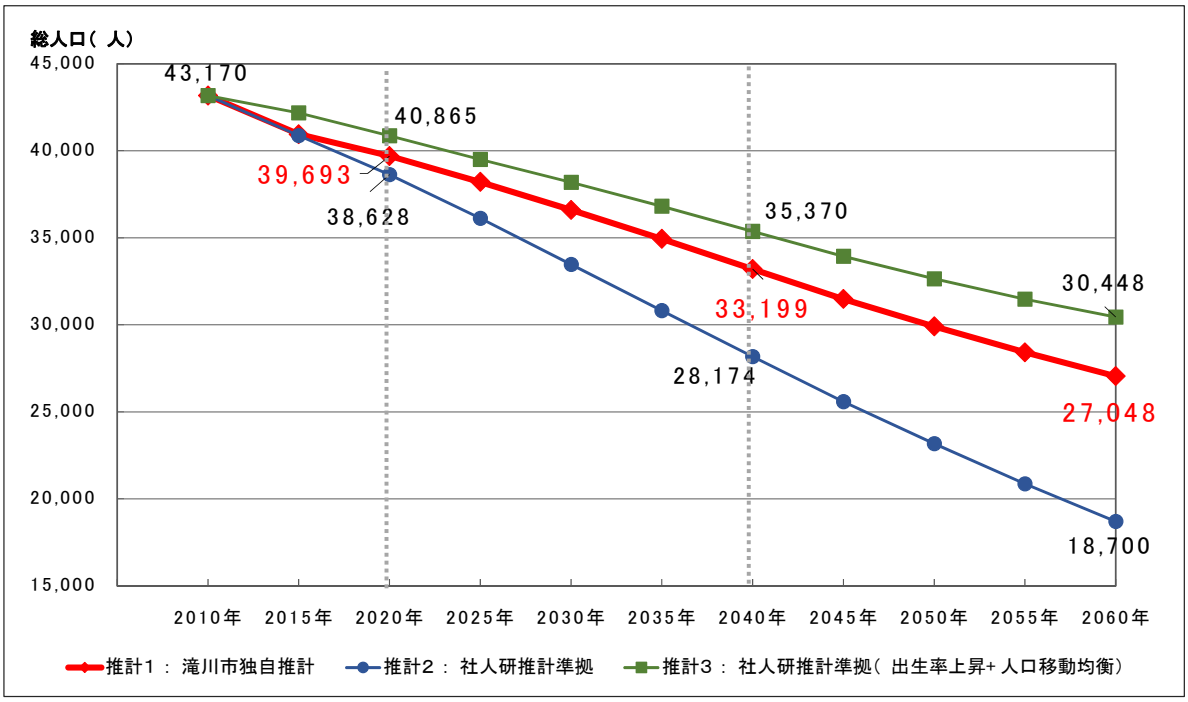
2015 年（平成 27 年）以降、合計特殊出生率は直近の値（1.43）が 2030 年（平成 42 年）までに 1.8 まで上昇し継続、純移動率については 2020 年（平成 32 年）以降均衡すると仮定して、2060 年（平成 72 年）まで推計した場合。

【推計２：社人研推計準拠】

2040 年（平成 52 年）までの出生・死亡・移動等の傾向がその後も継続すると仮定して、2060 年（平成 72 年）まで推計した場合。

【推計３：社人研推計準拠（出生率上昇＋人口移動均衡）】

合計特殊出生率が 2030 年（平成 42 年）までに人口置換水準[3]（2.1）まで上昇し、純移動率がゼロ（均衡）で推移すると仮定して、2060 年（平成 72 年）まで推計した場合。



将来人口の見通し

資料：滝川市人口ビジョン

[1] 合計特殊出生率：15 歳から 49 歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、一人の女性がその年次の年齢別出生率で一生の間に生むとした時の子どもの数に相当する。
[2] 純移動率：人口に対する５年間の純移動数（転入超過数）の割合
[3] 人口置換水準：人口が長期的に増えも減りもせずに一定となる出生の水準

1-5 計画期間

総合戦略の計画期間は、平成 27 年度から平成 31 年度までの５年間とします。

1-6 総合戦略のフォローアップ

各数値目標等をもとに、ＰＤＣＡサイクル[4]により、実施した施策・事業の効果を検証し、必要に応じて総合戦略を見直すこととします。

検証に際しては、その妥当性・客観性を担保するために、外部有識者で構成される滝川市まち・ひと・しごと創生会議を活用するとともに、市と市議会が車の両輪となって推進されるよう十分な審議を経るものとします。

[4] ＰＤＣＡサイクル：計画（plan）、実行（do）、評価（check）、改善（act）を繰り返し行い、継続的にプロセスを改善する手法

2. 基本方針

2-1 着目した滝川市のポテンシャル

総合戦略において着目した本市のポテンシャルとして、本市の地域特性や強み・弱みの分析などから、下記の６つの事項を整理しました。

（１）農業

- 基幹産業である米を中心とした農業
- なたねの作付面積が日本一
- 多様な魅力のある農産物

（２）きめ細かな教育と子育て支援の基盤

- 少人数学級や学びサポーターの導入による個に応じた教育体制
- 小中学校における英語教育支援の充実
- 妊娠から出産、育児のライフサイクルに応じた子育て支援を実施

（３）医療・福祉の基盤

- 地域医療と住民の健康を守り、質の高い地域の基幹病院としての市立病院や多数の医療機関
- 地域体操教室や介護予防講座、介護者の交流事業、高齢者の安否確認など、高齢者の暮らしを支える様々な支援を実施

（４）国際交流

- アジア、アフリカ等との農業、教育、行政等の技術支援
- 米国スプリングフィールド市との姉妹都市交流によるホームステイやロングメドー高校への留学生派遣などの国際交流

（５）美しい景観

- 江部乙地域の自然豊かな丘陵
- 春に市内を鮮やかな黄色に染める菜の花畑
- 秋にピンク色の花を咲かせるコスモス畑など
- 洪水や地震等の自然災害が少ない恵まれた自然環境

（６）中空知圏域の中心市

- 中空知圏域（５市５町）において、平成 26 年 11 月に「中空知定住自立圏共生ビジョン」を策定
- 本市は、砂川市とともに、生活利便性向上や地域の魅力づくりなどを進める中心市
- 札幌、旭川、富良野、日本海エリアまで車で約１時間圏内という高い交通利便性

2-2 基本的な考え方

総合戦略の策定及び実施に当たっては、本市のポテンシャルを活かし、以下に示す３つの事項を基本的な考え方として重視します。

（１）「雇用の創出」と「外からの需要の取り込み」に力点を置いた「人口減少問題の克服」

地方において、人口減少を契機に、「人口減少が地域経済の縮小を呼び、地域経済の縮小が人口減少を加速させる」という負のスパイラルが今後想定されることを背景に、国の総合戦略では、①人口減少問題の克服と②まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立を基本的な考え方としています。

本市においては、国の基本的な考え方を踏まえ、特に、「雇用の創出」と「外からの需要の取り込み」を重視して「人口減少問題の克服」に取り組みます。

（２）広域連携

本市は、中空知定住自立圏の中心市として位置付けられており、広域的な視点で地域の暮らしやすさや魅力向上に努め、「中空知定住自立圏共生ビジョン」の推進を図る必要があります。

人口減少社会の本格的な到来を踏まえ、中空知定住自立圏の構成市町をはじめ、北海道内の各自治体や広域行政を担う北海道との連携などに十分留意し、最大限の効果が得られるよう進めます。

（３）戦略的な情報発信

総合戦略の推進に当たっては、本市の施策を最大限効果的なものとするために、情報発信のターゲットの明確化やターゲットに応じた発信方法とすることにより、戦略的な情報発信の推進に努めます。

2-3 基本目標

国、北海道の総合戦略の方向性と整合を図りつつ、「2-2 基本的考え方」に示した３つの内容をふまえ、総合戦略に、以下に示す３つの基本目標を設定します。

また、国際交流・国際協力により得られた知見やネットワークを活かすこと、可能な限り広域連携によって効果を高めることを、３つの基本目標に共通した重要なテーマとし、目標の達成に向けて、取り組みを進めていきます。

◆３つの基本目標

基本目標１　農と食を活かした雇用創出と地域産業の育成・支援

本市の基幹産業である農業、また、農業から発展する食産業を活かして、雇用の安定及び新たな雇用創出を図るとともに、企業の人材確保や大学生等の市内就職支援、さらには、観光客の増加等による交流人口の拡大によって、これからの本市の産業振興及び人材育成に取り組みます。

数値目標：農業及び食関連産業における新たな雇用者数　40 人（5 年間）
学生・生徒の市内就職率 20%（Ｈ３１）※H27 学生・生徒の市内就職率 13.4%
外国人観光客数　年間 2,700 人（H31）※H27 外国人観光客数 1,700 人

基本目標２　すべての子どもの成長の支えと教育環境の構築

妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援と子どもが安心して成長できる環境づくりに取り組みます。また、きめ細かな教育環境を維持・充実し、すべての子どもが輝く教育環境を構築していきます。

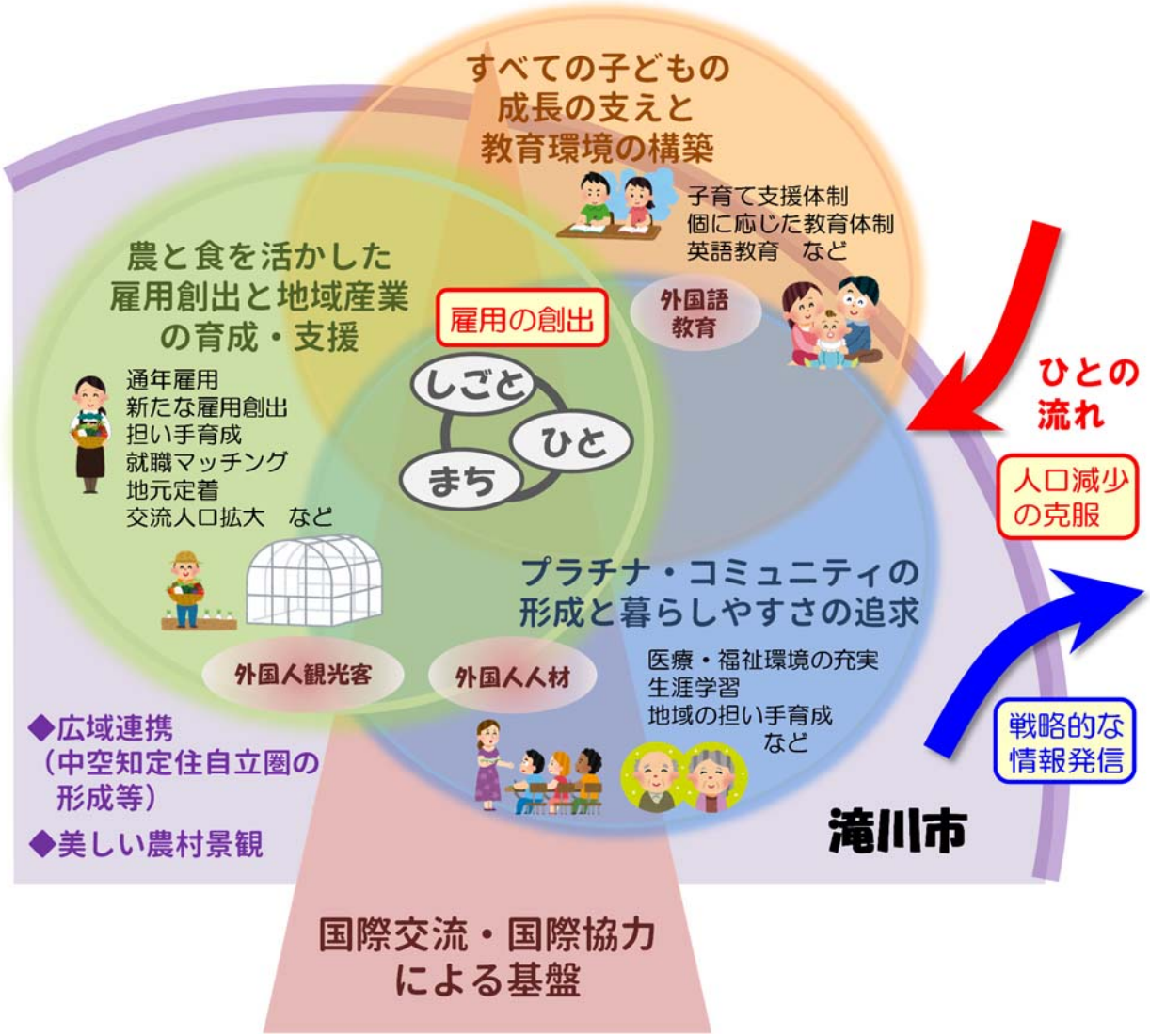
数値目標：この地域で子育てをしたいと思う親の割合　95%（H31 乳幼児健診問診票）
教育に関わる施策肯定度　80%（H31 学校教育に関わる保護者アンケート）

基本目標３　プラチナ・コミュニティの形成と暮らしやすさの追求

担い手の確保・育成などにより充実した医療・福祉環境の維持・活用を図り、高齢者、障がい者など誰もが永く元気に暮らし、多様な交流や社会貢献など、生涯にわたり生きがいを持って暮らせる環境づくりに取り組むとともに滝川版ＣＣＲＣ[5]の確立を目指します。

数値目標：都市部からの移住者数　40 人（5 年間）
支援制度利用件数 160 件（5 年間）

◆基本方針の概念図



[5] ＣＣＲＣ：Continuing Care Retirement Community の略。健康時から介護時まで継続的ケアを提供する米国の高齢者施設のコンセプト

3. 施策の展開

基本目標１ 農と食を活かした雇用創出と地域産業の育成・支援

①農と食を活かした雇用創出

施策１：冬を克服し、農業・食で通年雇用できる就業環境の創出【重点】

施策２：企業参入や農商工連携の促進による雇用創出

施策３：子どもから大人まで、未来の滝川農業を担う人材育成

②地域産業の育成・支援

施策１：起業支援による雇用の創出

施策２：しごとの魅力発信と総合的な就業・移住支援【重点】

施策３：大学生等の地元就職支援

施策４：外国人人材活用の推進

③外国人観光客の増加と菜の花等の農村景観による交流人口の拡大

施策１：外国人観光客の快適性向上と地域滞在型観光スタイルの構築

施策２：菜の花等の美しい農村景観を活かした交流促進

基本目標２ すべての子どもの成長の支えと教育環境の構築

①妊娠・出産・子育て支援体制の構築ときめ細かな支援

施策１：妊娠・出産・子育てまでの切れ目ない支援の充実

施策２：仕事と子育てを両立するための支援

②地域の将来を担う人材を育成する教育環境の構築

施策１：個に応じた確かな学びときめ細かな見守り・心配りの充実

施策２：日常的に英語に触れる環境の充実と学校連携

基本目標３ プラチナ・コミュニティの形成と暮らしやすさの追求

①安心して健康に永く暮らせる環境づくり

施策１：生涯活躍のまち（滝川版ＣＣＲＣ）構想の推進

②暮らしやすい地域づくり

施策１：地域の活力を生み出す人材の育成

施策２：地域資源を活かした住宅取得支援

国際交流・国際協力の基盤

美しい農村景観

広域連携（中空知定住自立圏、北海道等）

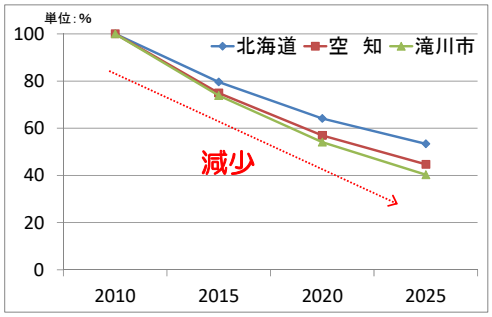
3-1 農と食を活かした雇用創出と地域産業の育成・支援

（１）現状と課題

①農業従事者の高齢化が進むなか、現在は生産規模の拡大により耕地面積を維持していますが、規模拡大も限界に近づいています。

【課題】

高齢農業者の離農や後継者不足により、今後、遊休農地の発生が懸念されます。



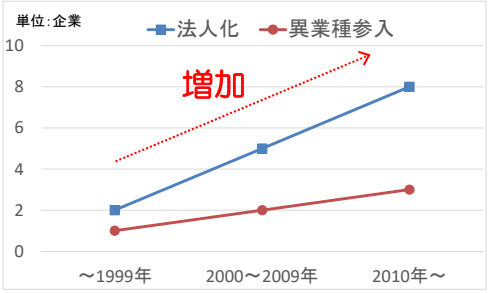
販売農家人口の減少率の予測

資料：農林業センサスを用いた北海道農業・農村の動向予測

②農業生産法人[6]や企業の農業参入が増加しており、パートを含め、多くの雇用を創出している企業もあります。

【課題】

法人化や通年雇用等、就農しやすい仕組みの構築による労働力確保、雇用の安定が必要です。



農業生産法人の推移（累計）

資料：滝川市資料

③なたね油を使用したオイルソースやグラノーラ、りんごの発泡酒など、滝川産農産物を活用した新たな加工品が生まれています。

【課題】

農産物から付加価値を生み出すためのさらなる取り組みが必要です。

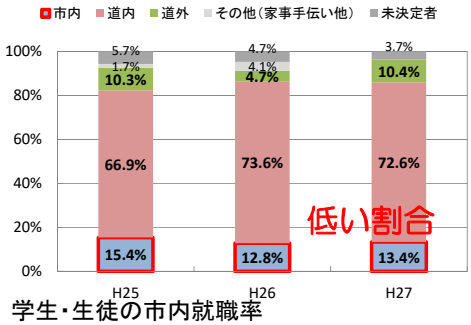
りんご＆ドライ（りんごの発泡酒）

資料：滝川市資料

④農業以外の産業についても、市内の就業環境として、学生・生徒が地元に就職する割合が低くなっています。

【課題】

若い世代の地元離れが進んでいるため、今後、産業の担い手が不足していきます。



学生・生徒の市内就職率

資料：滝川市資料

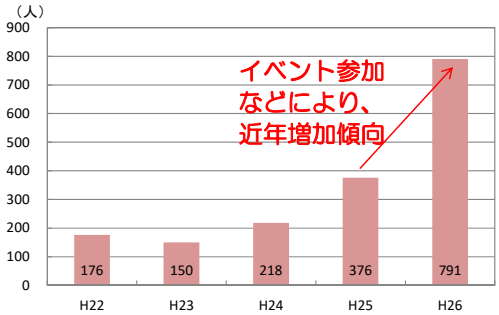
---

[6] 農業生産法人：農業経営を行うために農地を取得できる法人（株式会社、農事組合法人、合名会社、合資会社）

⑤本市内への外国人観光客は、イベント参加人数の増加により、近年、増加傾向にあります。

【課題】

外国人観光客のさらなる増加を図るため、受け入れ環境の整備や、広域連携による地域滞在型観光スタイルの構築、情報発信の強化等の取り組みが必要となります。



外国人観光客数

資料：北海道観光入込客数調査、滝川市資料

（２）施策の方向性

（１）に示した課題解決を図り、本市で重要な位置づけとなっている農と食を活かした雇用創出と地域産業の人材育成、外国人観光客の増加等による交流人口の拡大を図るために、下記の取り組みを行います。

①農と食を活かした雇用創出

冬期間の農業・食に関連したしごとを創り出すことにより、通年で雇用が可能な就業環境を構築します。そのために、農業の法人化を推進し、企業の参入を促すとともに、農業分野における雇用創出を図ります。

数値目標：農業及び食関連産業における新たな雇用者数　40 人（5 年間）

施策１　冬を克服し、農業・食で通年雇用できる就業環境の創出【重点】
施策２　企業参入や農商工連携[7]の促進による雇用創出
施策３　子どもから大人まで、未来の滝川農業を担う人材育成

②地域産業の育成・支援

農業に限らず、新分野への進出や起業など、地元事業者の意欲ある取り組みに対して支援します。また、広域連携により、人材不足の業種の企業情報（企業概要、求人等）や移住に関する総合的な情報発信、雇用環境の質向上による雇用のミスマッチ[8]の解消を図ります。さらには、本市内の大学生等の地元就職支援により、将来の地域産業を担う人材を確保するとともに、併せて就職先の確保に努めます。

数値目標：学生・生徒の市内就職率　20%（Ｈ３１）※H27 学生・生徒の市内就職率　13.4%

施策１　起業支援による雇用の創出
施策２　しごとの魅力発信と総合的な就業・移住支援【重点】
施策３　大学生等の地元就職支援
施策４　外国人人材活用の推進

[7] 農商工連携：農林漁業者と商工業者が「技術・ノウハウ」を持ち寄り、新たな商品やサービスの開発・提供等に取り組むこと
[8] 雇用のミスマッチ：求人と求職のニーズが一致しないこと

③外国人観光客の増加と菜の花等の農村景観による交流人口の拡大

国際交流・国際協力の実績、美しい農村景観等のポテンシャルを活かし、外国人観光客の受け入れ環境整備や、地域が主体となった環境整備の取り組み支援、地域の魅力を伝える情報発信を行うことにより、観光における交流人口の増加を図ります。また、広域連携により、地域滞在型観光スタイルの構築に向けた取り組みを進めます。

数値目標：外国人観光客数　年間 2,700 人（H31）※H27 外国人観光客数 1,700 人

施策１　外国人観光客の快適性向上と地域滞在型観光スタイルの構築
施策２　菜の花等の美しい農村景観を活かした交流促進

（３）具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）[9]

①農と食を活かした雇用創出

施策１：冬を克服し、農業・食で通年雇用できる就業環境の創出【重点プロジェクト 4-1】

新規就農者の冬期の就業不安に対し、通年で雇用できる就業環境モデルの検討などにより農業・食関連産業における雇用の創出を図ります。

1) 冬のしごとづくり事業	
事業概要	・実証試験用ハウスの整備、流通システムの検討と実証実験、エネルギー利用調査、高付加価値作物の試験栽培により、通年栽培が可能なハウスの導入推進を図ります。 ・滝川産農産物を活用した加工商品の開発支援を図ります。
重要業績評価指標（KPI）	雇用を創出する農業関連事業：２件（５年間）

施策２：企業参入や農商工連携の促進による雇用創出

農業分野への企業参入の促進、あわせて、農商工連携事業等を推進することにより、農業関連分野でのしごとづくりを進め、新たな雇用創出を図ります。

2) 農商工連携推進事業	
事業概要	・企業訪問等により農業参入情報を収集し、地域農業者や参入可能な農地と個人企業とのマッチングなど、農業分野への企業誘致・農業参入を支援します。 ・６次産業化[10]支援、産業創出促進のための助成、商品開発や販路拡大の支援など、農商工連携事業を推進します（物産振興事業 等）。
重要業績評価指標（KPI）	企業誘致等による新たな事業創出件数：２件（５年間）

施策３：子どもから大人まで、未来の滝川農業を担う人材育成

農業における後継者不足が課題となっていることから、小中学生の農業体験学習、新規就農希望者の研修、試験研究等を一元的に支援する仕組みを検討し、今後の滝川農業を担う人材の安定確保に努めます。

3) アグリカレッジ事業	
事業概要	・新規就農希望者に対し、農業塾等により、就農に必要な知識を習得する研修を行うとともに、地域おこし協力隊[11]制度を活用した新規就農の推

[9] 重要業績評価指標（KPI）：Key Performance Indicator の略称。施策ごとの進捗状況を検証するために設定する指標

[10] ６次産業化：地域の第１次産業と関連する第２次・第３次産業（加工・販売等）の事業の融合等により、地域ビジネスの展開と新たな業態の創出を行う取り組み

[11] 地域おこし協力隊：都市地域から過疎地域等に生活拠点を移した者を地方公共団体が「地域おこし協力隊員」として委嘱。隊員は、地域に居住して「地域協力活動（地域おこしの支援、農林水産業の従事、住民の生活支援など）」を通じて地域への定住・定着を図る取り組み

	進を図ります。 ・市内小中学生の農業体験学習の受け入れやグリーンツーリズム[12]の推進など、農業体験事業を実施します。 ・実務研修として、企業や研究機関と連携した試験研究、生産・加工・販売事業を推進します。
重要業績評価指標（KPI）	Ｕターンを含む新規就農者数：３０人（5 年間）

②地域産業の育成・支援

施策１：起業支援による雇用の創出

起業促進や既存事業者の新分野進出、事業の拡大を図ることを目的に、国、道などの支援内容を広くＰＲするとともに、相談内容の共有化やノウハウの統合による相談事業者に対する支援強化を図るため、滝川市産業活性化協議会内にワンストップ相談窓口「TAKI-Biz（タキビズ）」を設置し新たな産業の創出、雇用の創出を目指します。

1）たきかわ産業支援相談窓口「TAKI-Biz（タキビズ）」事業	
事業概要	・市内の経済関連団体を構成団体とする滝川市産業活性化協議会内にワンストップ相談窓口を設置し、各団体の役割の明確化と相談案件の共有化による連携体制の強化に取り組みます。 ・各団体で相談を受けた内容の共有や一元化、相談者が求める支援内容の的確な把握により、創業や新分野進出など事業ニーズの掘り起しを行います。
重要業績評価指標（KPI）	相談件数：50 件（５年間） 創業件数：10 件（５年間）

2）産業創出促進助成事業	
事業概要	・産業振興と雇用の創出に向け、地域経済の活性化に繋がる事業や新分野進出・起業化など、地元事業者の意欲ある取り組みに対して支援します。
重要業績評価指標（KPI）	助成金の交付件数：30 件（５年間）

施策２：しごとの魅力発信と総合的な就業・移住支援【重点プロジェクト 4-2】

雇用の機会があっても働き手が不足する雇用のミスマッチが発生していることから、首都圏等都市部に対して、企業や仕事の魅力とあわせて求人情報や住宅等の移住に備えた総合的な情報発信や、市内学生等求職者に対する企業情報の発信など、雇用創出に向けた支援を行います。

[12] グリーンツーリズム：農山漁村地域において自然、文化、人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動

3）就業・移住ナビ事業【広域連携】	
事業概要	・中空知圏域の企業情報を都心部に情報発信するサイトを整備します。また、転職情報のほか住宅等、移住に係る総合的な窓口機能を充実します。 ・求職者の意識啓発を図るため、インターンシップや市内学生等求職者への情報発信を行います。
重要業績評価指標（KPI）	人材不足と感じる企業割合の低下（H28とH30の比較） ※滝川市労働実態調査（隔年実施）

施策３　大学生等の地元就職支援

大学生の地元就職を定着させるため、市内での就職を目指す國學院大學北海道短期大学部の学生に対し、奨励金の支給等を行い、就学機会の拡大と併せて地域産業を担う人材の確保に努めます。

4）大学連携による人材還流促進事業	
事業概要	・國學院大學北海道短期大学部を卒業後、あるいは編入学により國學院大學を卒業した後、Uターン就職を含めた人材の地元定着を図るため、滝川市・國學院短大部・学校法人國學院大學の三者がそれぞれ奨励金制度を創設し市内への就職を促すとともに、経済団体と連携して雇用の創出や地元就職先の確保を行います。 ・市外の高等教育機関等を卒業後、滝川市内において人材が求められる職種への就職を促すための方策を検討します。
重要業績評価指標（KPI）	・奨励金を支給した学生の内、市内就職者数：20人（5年間）

施策４　外国人人材活用の推進

市内企業における外国人人材の活用を推進することにより、地域産業の振興を支援します。

5）外国人人材活用による地域産業支援事業	
事業概要	・市内企業における人材不足の解消を目的として、地方創生特区の活用や、外国人人材に対する日本語教育支援やスキルアップセンターそらちの活用により、外国人人材の積極的な導入を推進します。
重要業績評価指標（KPI）	外国人人材の活用を目的とした事例件数：２件（５年間）

◆その他関連事業（地方創生先行型等）

- 中心市街地賑わい創出支援事業
- ＩＣＴ[13]利活用の高度化事業
- 産業創出促進助成事業

[13] ＩＣＴ：情報通信技術を表すITに、コミュニケーションの概念を加えた言葉

③外国人観光客の増加と菜の花等の農村景観による交流人口の拡大

施策１　外国人観光客の快適性向上と地域滞在型観光スタイルの構築

本市がこれまで実施してきた国際協力や国際交流の実績を活かし、外国人観光客の快適性向上や地域滞在型の観光メニューを創出するなど、受け入れ環境を整備し、観光客の増加を図ります。

1）外国人観光客受入基盤整備事業【広域連携】	
事業概要	・道の駅、ＪＲ滝川駅などの公共施設や観光拠点において Wi-Fi 整備を行い、外国語対応した観光ガイド機能などの「滝川（中空知）観光ガイドアプリ（仮）」を作成し、案内板、レストランメニュー等の多言語表記やガイドの育成を行うなど、インバウンド[14]観光の環境整備を行います。 ・ＳＮＳ[15]、観光雑誌等の多様なコンテンツを活用した情報発信を行います。 ・広域の官民連携を目指した勉強会等により、観光ＤＭＯ[16]など、地域滞在型の観光スタイルの構築を目指します。
重要業績評価指標（KPI）	外国人観光客数：2,700 人（Ｈ３１）※H27 外国人観光客数 1,700 人

施策２　菜の花等の美しい農村景観を活かした交流促進

「日本で最も美しい村」連合[17]への加盟が決定した江部乙地域を中心に、美しい農村景観を活かすため、地域の魅力をより効果的に伝える情報発信を行い、交流人口の増加を図ります。

2）地域の魅力を活かした交流促進事業	
事業概要	・先進事例調査等、地域の魅力向上への側面支援を行います。 ・冊子作成、看板設置などのＰＲを行います。 ・農家民泊等の宿泊機能を備えた観光による交流促進を図ります。
重要業績評価指標（KPI）	新聞、雑誌等掲載件数：１００件（５年間）

◆その他関連事業（地方創生先行型等）

- 滝川市公式ホームページ更新事業
- 広域連携によるドライブ観光客誘致事業
- 日本で最も美しい村連合スタートアップ事業
- 東アジアを中心としたインバウンド観光推進事業

---

[14] インバウンド：訪日外国人旅行
[15] ＳＮＳ：Social Networking Service の略。人とのつながりを促進・支援するコミュニティ型 Web サイト。
[16] 観光ＤＭＯ：ワンストップ窓口として、経営の視点から地域の観光資源を総合的にとりまとめ、新たな市場を創造する組織
[17] 「日本で最も美しい村」連合：日本の農山漁村の景観・文化を守りつつ、最も美しい村としての自立を目指す運動を行う組織

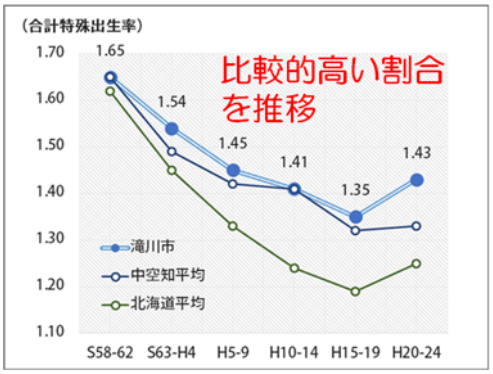
3-2 すべての子どもの成長の支えと教育環境の構築

（１）現状と課題

①本市では、不妊治療、妊婦健診、子どもの医療費など、子育てしたいまちを目指した多様な取り組みを行っています。

【課題】

現在の取り組みを活かし、今後、子育て支援の取り組みを充実させる必要があります。



合計特殊出生率の推移

資料：人口動態保健所・市区町村別統計

◆子育て支援の取り組み例

ファミリーサポートセンター事業	育児の援助を受けたい人と行いたい人が地域の中で助け合う会員組織
子育て支援センター事業	子育て全般に関する専門的支援を行う拠点であり、地域支援活動を実施
ブックスタート事業	赤ちゃんの成長に合わせて絵本を3回贈る
こんにちは赤ちゃん訪問事業	2人目以降の乳児が誕生した家庭全戸に支援員が訪問

②これまでの本市の学校教育は、少人数学級や学びサポーターの配置、グローバル体験など、他の市町村と比較しても、特徴的できめ細かな教育を行っています。

【課題】

今後、現在の教育基盤を活かし、質の高い人材を育てる必要があります。

◆滝川市の小中学校の教育

未来を拓く「たきかわっ子」の育成

1. **少人数学級の実施**
   小学校3～4年生までを対象に実施
2. **少人数指導の充実**
   学びサポーターの配置
3. **外国語教育の充実**
   中学校英語教室の設置
4. **学力・学習意欲向上支援事業**
   モデル地区の小中学校が連携し、学力課題に応じた学習向上対策を実施

◆滝川西高校の教育

英語力向上プロジェクト
チャレンジマーケット
グローバル・プロジェクト　など

成果！

- 就職内定率5年連続100％
- 「国際田園都市TAKIKAWAの20年後」プレゼンでグランプリ
- 「第2回高校生ビジネス・プラン・グランプリ」で全国ベスト20
- 英検、簿記等の合格者が増加
- 国公立大学合格者が増加

（２）施策の方向性

（１）に示した課題解決を図り、本市で特徴的な取り組みを行っている教育環境や多様な子育て支援の基盤を活かし、安心して妊娠、出産、子育てができ、子ども達が生き生きと育ち、将来を担う人材として育成していくために、下記の取り組みや支援を行います。

① 妊娠・出産・子育て支援体制の構築ときめ細かな支援

安心して子どもを生み育てたいと思う人々の希望を実現できる社会環境の醸成を目標とし、妊娠、出産、子育ての切れ目ない支援、仕事と子育てを両立するための支援を行い、多くの人に『滝川で子どもを生み育てたい』と思われるきめ細かな子育て支援体制を構築します。

数値目標：この地域で子育てをしたいと思う親の割合　95%
（H31 乳幼児健診問診票）

施策１　妊娠・出産・子育てまでの切れ目ない支援の充実
施策２　仕事と子育てを両立するための支援

②地域の将来を担う人材を育成する教育環境の構築

子どもたちの学びへの配慮に富んだ学習環境と、子どもの変化に対するきめ細かな心配りができる指導体制を提供します。また、外国人とのコミュニケーションや英語による会話機会を多く持つことができる強みを生かした教育を推進することを通して、滝川から世界で活躍する人材を育成することにより、多くの人に『滝川で教育を受けたい、受けさせたい』と思われる教育環境を構築します。

数値目標：教育に関わる施策肯定度　80%
（H31 学校教育に関わる保護者アンケート）

施策１　個に応じた確かな学びときめ細かな見守り・心配りの充実
施策２　日常的に英語に触れる環境の充実と学校連携

（３）具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）

① 妊娠・出産・子育て支援体制の構築ときめ細かな支援

施策１：妊娠・出産・子育てまでの切れ目ない支援の充実

妊娠、出産、子育てまで切れ目のない支援を行うための窓口の見直しや効果的な連携を図り、ワンストップ窓口機能を構築します。また、妊娠、出産、子育てをしている方々が孤立しないよう気軽に集える環境の構築や、妊娠、出産、子育てにかかる負担軽減を図るとともに、支援を希望する方にとって、わかりやすい情報提供を行います。

1）妊娠・出産・子育てにかかる支援の充実	
事業概要	・妊娠、出産、子育てまでの切れ目ない支援の充実のため、窓口の見直しや連携を図り、ワンストップ窓口機能を構築します。 ・多世代交流や孤立防止、育児負担軽減のための集いの場や子どもが遊べる広場の充実を図ります。 ・妊娠、出産、子育てにかかる滝川市公式ホームページを活用した情報提供の充実を図ります。 ・妊娠、出産、子育てにかかる後押しや負担軽減のための支援充実を図ります（未就学児医療費助成事業、妊婦健康診査支援事業、不妊治療支援事業　等）。
重要業績評価指標（KPI）	要支援妊産婦への支援実施割合：100%（H31）

施策２　仕事と子育てを両立するための支援

子育てをしながら働きたい女性等が安心して仕事と子育てを両立するための支援を行います。

2）仕事と子育てを両立するための支援	
事業概要	・放課後児童クラブやファミリーサポートセンター、病後児保育など、子育てをしながら働きたい女性等が安心して仕事と子育てを両立するための支援を推進します。 ・仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）に関する意識啓発を推進します。 ・女性活躍推進センター（仮称）のあり方を検討するとともに、必要な取り組みを進めます。
重要業績評価指標（KPI）	子育て環境や支援に対する満足度の向上（H25 と H31 の比較） ※H25 滝川市子ども・子育て支援に関するニーズ調査比較

◆その他関連事業（地方創生先行型等）

・滝川市公式ホームページ更新事業

・未就学児医療費助成事業
・妊婦健康診査支援事業
・不妊治療支援事業

② 地域の将来を担う人材を育成する教育環境の構築

施策１：個に応じた確かな学びときめ細かな見守り・心配りの充実

教育の多様化、今後の教育環境の変化などに柔軟に対応するため、子どもたちの学びへの配慮に富んだ学習環境をつくりあげ、「確かな学力」を身につけるための取り組みの推進や、学習や生活の困り感に応じたきめ細かな指導や援助の充実を図ります。

1) 少人数エボリューション事業	
事業概要	・少人数学級の継続・拡充を実施し、子どもたちに「確かな学力」を身につけさせるとともに、「心の教育」の充実を図り、いじめ問題や不登校問題等の諸課題の未然防止に努めます。 ・基礎学力の向上と特別な支援を要する児童生徒に対し、「学びサポーター」の配置継続と効果的な活用により、きめ細かな指導や援助の充実を図ります。
重要業績評価指標（KPI）	「全国学力・学習状況調査」における児童生徒質問紙回答（H27 と H31 の比較） ①「国語の授業が分かる」：10%程度上昇 小学生：80%⇒88%、中学生：76%⇒83% ②「算数（数学）の授業が分かる」：10%程度上昇 小学生：78%⇒86%、中学生：59%⇒65%

施策２　日常的に英語に触れる環境の充実と学校連携

日常的に英語に触れる環境整備や英語力を向上させるプログラムの実施を進めます。さらに、小学校・中学校・高等学校の外国語や英語の授業連携を通して英語科の授業改善を図ります。

2) FEE（Full English Education)事業	
事業概要	・「英語ルーム」の設置により、日常的に英語に触れる環境整備を図り、中学校における英語教育を充実します。 ・「滝川市イングリッシュ・キャンプ」を実施し、英語に対する興味・関心を高めるとともに、英語力を向上させるプログラムを実施します。 ・「市内英語ボランティア」の人材を発掘し、各小学校の授業における学習支援等、市民力を活用した取り組みを構築します。 ・校種を超えて外国語や英語の授業を教員が参観し、児童生徒の英語力に関わる実態を共有し、英語科の授業改善を図ります。
重要業績評価指標（KPI）	中学校における英検３級合格者：100 人超（５年間）

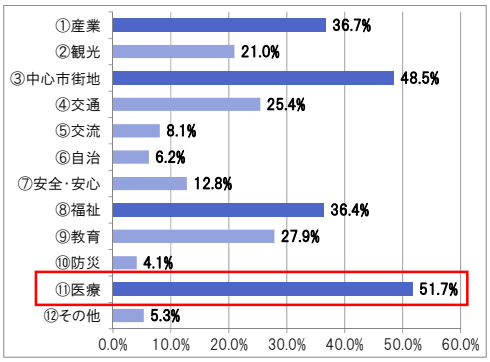
3-3 プラチナ・コミュニティの形成と暮らしやすさの追求

（１）現状と課題

①本市には、市立病院のほか、２５か所の病院・診療所、２６か所の歯科診療所など、医療機関が多数あり、市立病院では、基礎的医療から高度な医療の提供と救急医療の提供を行っています。

【課題】

今後、現在の医療基盤を活かし、市民が健康で安心して暮らせる環境づくりを行う必要があります。



地域の魅力が高まる項目

資料：市民アンケート

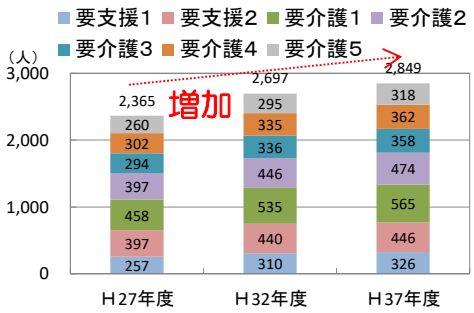
◆市立病院の特徴的な取り組み

- H28 年 2 月に電子カルテ化を実施し、<u>中空知医療連携ネットワークが稼働</u>（中空知６自治体病院がネットワーク化）
- <u>地域医療室を設置</u>し、専門スタッフが様々な情報を収集し、患者と家族の相談、退院に向けた調整などを実施
- <u>病院機能評価認定病院</u>
  ※病院が組織的に医療を提供するための基本的な活動（機能）が、適切に実施されているかどうかを評価する仕組み

②本市では、介護予防や生活支援などの高齢者を支援する取り組みを多数行っていますが、今後、介護認定者数の増加が見込まれるなか、介護人材の不足が懸念されます。

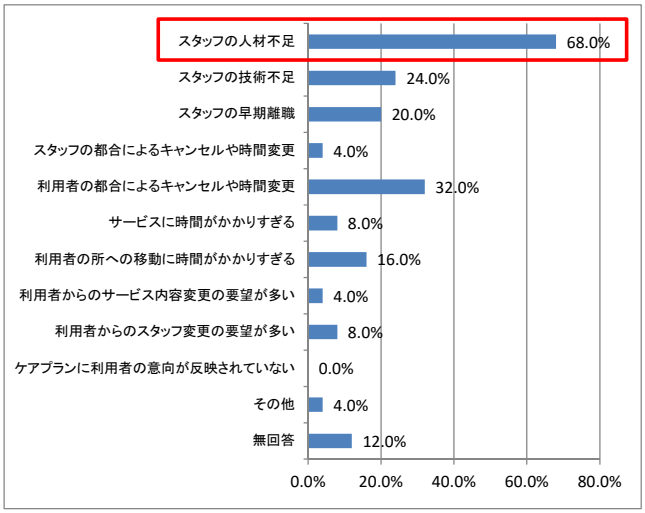
【課題】

今後、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすため、多様なサービスを包括的に行うシステムや、国による待遇改善を中心とした人材不足への対応が求められています。



介護認定者数の推計

資料：第 6 期滝川市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画



介護事業で苦慮している点

資料：第 6 期滝川市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画

③本市には、高等教育機関や豊かな自然が存在し、第二の人生を価値高く生きるための学びなおし、生涯学習の絶好の機会を提供し得る環境が整っています。

【課題】

今後、生涯学習機会の充実を図り、学ぶ喜びを実感できる環境づくりを行う必要があります。

（２）施策の方向性

（１）に示した課題解決を図り、本市で優位性のある医療・福祉基盤や高等教育機関等を活用し、誰もが生涯にわたり、価値ある人生を生きがいを持って、健康で、永く安心して暮らせるまちを形成するために、下記の取り組みを行います。

①安心して健康に永く暮らせる環境づくり

生きがいを求める高齢者などの都市圏からの移住、または、地域住民のまちなか居住などを進め、仕事や社会活動、生涯学習などへの積極的な参加や、地域に溶け込んで多世代と交流できるような生活環境の構築を図り、多くの人に『滝川で、健康でアクティブな充実した生活を送りたい』と思われる環境づくりを進めます。

数値目標：都市部からの移住者数　40 人（5 年間）

施策１　生涯活躍のまち（滝川版 CCRC）構想の推進

②暮らしやすい地域づくり

高等教育機関等との連携を強化し、地域の活力を生み出す人材の育成や若者の地元定着を促進するため、地域貢献と地域住民との交流を深める活動等を支援します。また、住宅ストック等を有効に活用し、多くの方が暮らしやすい環境づくりを進めます。

数値目標：支援制度利用件数　１６０件（5 年間）

施策１　地域の活力を生み出す人材の育成
施策２　地域資源を活かした住宅取得支援

（３）具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）

① 安心して健康に永く暮らせる環境づくり

施策１：生涯活躍のまち（滝川版 CCRC）構想の推進

生涯安心して健康で自立した生活が送れるような居住環境や医療・福祉サービス、多世代交流のための環境整備を進めます。また、大学や近隣自治体等との連携を図り、健康でアクティブな生活を提供するための環境を整えます。さらに、生涯活躍のまちづくりを進めるための人材確保や人材誘致を行うとともに、魅力ある環境を都市部等へ発信していきます。

1）生涯活躍のまち（滝川版 CCRC）構想の推進【広域連携】	
事業概要	・医療・福祉サービスや居住機能、オープンスペースなどの整備が予定されている栄町 3-3 地区優良建築物等整備事業において民間による施設整備への支援を行います。 ・地域資源を活かした居住環境の整備やお試し暮らしの仕組みづくりを進めます。 ・文化ゾーンを活用した学びの場づくりや高齢者の学びが地域参画・社会貢献につながる仕組みづくりを行います。 ・活動的な高齢者等がプラチナライフコンシェルジュとして情報発信や指導などを行う仕組みづくりを行います。 ・大学との連携により、社会人入学の促進や市民講座の実施等、生涯学習機会を充実します。 ・福祉人材養成機関との連携を密にし、福祉人材の確保を促進します。 ・文化活動、ボランティア活動を行う人材確保や福祉施設への就職および転入にかかる支援を行います。 ・広域的な医療体制の充実や農村景観を活かしたスローライフ、近隣を含めたレジャー環境など、都市部からの移住促進のための PR を行います。【重点 4-2】
重要業績評価指標（KPI）	都市部からの移住者数　40 人（5 年間）

② 暮らしやすい地域づくり

施策１：地域の活力を生み出す人材の育成

地域の活力を生み出す人材の育成や若者の地元定着を促進します。

2）地域の活力を生み出す人材の育成	
事業概要	・ボランティア活動や地域交流事業を行う団体（任意・ゼミ）への支援のほか、空き店舗対策など地域の課題解決を目的とした研究実践やオープンカレッジ事業等への支援を行い、國學院大學北海道短期大学部をはじめとする大学や中学校、高等学校との連携を図りながら、地域活力を生み出す人材育成や地元定着を促進します。 ・地域において女性が活躍するための仕組みづくりを行います。
重要業績評価指標（KPI）	学生・生徒のボランティア参加人数　250 人（5 年間）

施策２：　地域資源を活かした住宅取得支援

優良な中古住宅などの既存ストックを活用した子育て世帯の転入や転居にかかる支援、中古住宅を取得し耐震改修した場合の支援など住宅取得への支援を行います。また、新築住宅助成制度を創設し、住宅取得への支援を行い移住・定住を促進します。

3）地域資源を活かした住宅取得支援	
事業概要	・中空知住み替え支援協議会[18]が斡旋する戸建て賃借住宅に転居する子育て世帯に対し、家賃の一部を助成します。 ・優良な中古住宅などの既存ストックの資産価値向上に資する耐震改修等のための住宅施策を進めます。また、空き家の活用等を含め、ＰＲの強化を図ります。 ・新築住宅助成制度を創設し、住宅取得への支援を行い移住・定住を促進します。
重要業績評価指標（KPI）	支援制度利用件数：１６０件（５年間）

◆その他関連事業（地方創生先行型等）

・國學院大學北海道短期大学部との連携

[18] 中空知住み替え支援協議会：高齢者や子育て世帯が生活に適した居住環境を整えることを目的に、関連する団体や企業が参集し、相談窓口、物件情報登録、住宅情報の提供などを行う組織

4. 重点プロジェクト

4-1 冬を克服し、農業・食で通年雇用できる就業環境の創出

◆冬のしごとづくり事業

(1)事業の目的

冬期間の農業・食に関連したしごとを創り出すことにより、通年で雇用が可能な就業環境を構築します。そのために、通年栽培が可能なハウスの導入と農産物加工事業を推進します。併せて、これら事業の主体となり新規就農従業者の受け皿となる農業法人の育成と企業の参入を図ります。

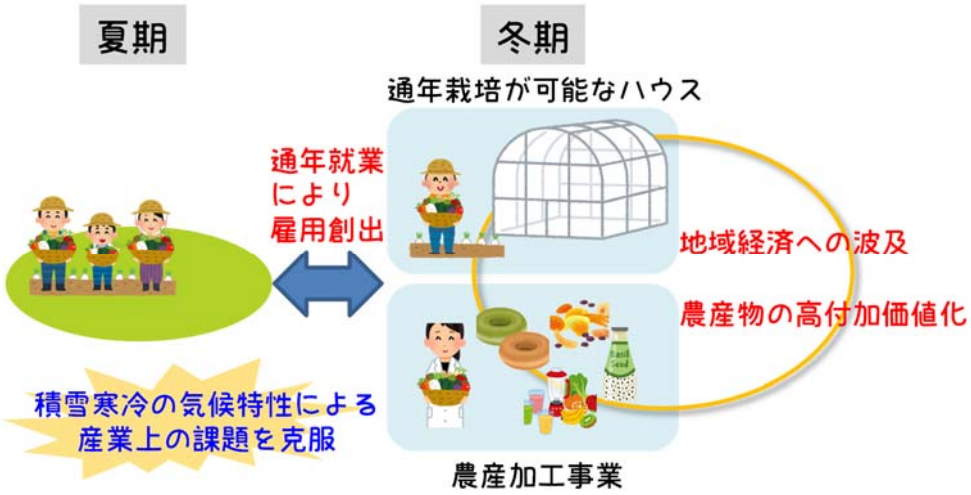
(2)事業概要

①通年栽培が可能なハウスの導入推進

- 実証試験用ハウスの整備
- 生産から販売までの流通システムの検討と実証実験（販売拠点を持つ企業との連携）
- エネルギー利用調査（地中熱・温泉熱・もみ殻など）
- 高付加価値作物の試験栽培

②農産加工事業の推進

- 滝川産農産物を活用した加工商品の開発支援



(3) 重要業績評価指標（KPI）

雇用を創出する農業関連事業：２件（５年間）

4-2 しごとの魅力発信と総合的な就業・移住支援

◆就業・移住ナビ事業【広域連携】

(1)事業の目的

市内への転入者の増加及び市外への転出者の減少を図るため、雇用の創出が必要となりますが、一方、特に建設業、製造業、介護福祉サービス業等においては、雇用の機会があっても働き手が不足する雇用のミスマッチが発生しており、業種によっては、人材不足が深刻となっています。また、中空知圏域内においても同様の状況がみられており、中空知定住自立圏の圏域の課題ととらえ、近隣市町と連携しながら、課題解決を図る必要があります。

そのため、広域における企業や求人の情報のほか、ライフスタイルに合わせた居住環境やレジャーの提案など、総合的な情報提供を行い、首都圏等都心部からの就業・移住に向けた取り組みを進めます。

(2)事業概要

①就業・移住ナビ事業【広域連携】

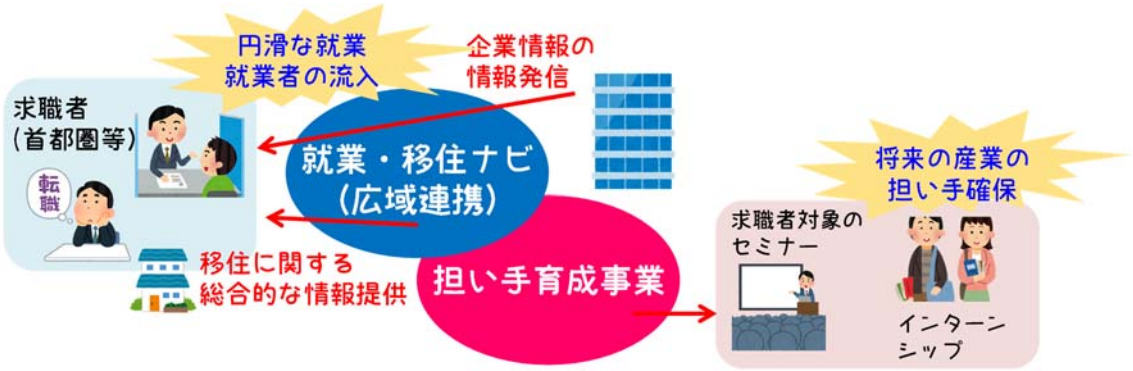
- 中空知圏域の企業情報を都心部に情報発信するサイト等を整備します。
- 転職情報のほか、住宅等、移住に係る総合的な窓口機能を充実します。

②将来の産業担い手育成事業

- 求職者の意識啓発を図るため、インターンシップや市内学生等求職者への情報発信を行います。

③都市部からの移住促進（滝川版 CCRC）PR 事業【広域連携】

- 広域的な医療体制の充実や農村景観を活かしたスローライフ、近隣を含めたレジャー環境など、都市部からの移住促進のための PR を行います。



(3) 重要業績評価指標（KPI）

人材不足と感じる企業割合の低下（H28 と H30 の比較）

※滝川市労働実態調査（隔年実施）

5. 総合戦略の推進に向けて

総合戦略は、将来の人口動向を見据え、人口減少の克服に向けて、本市において今後５年間、戦略的に取り組むべき施策を定めたものです。

この総合戦略の推進にあたっては、官民連携により、地域が一体となった取り組みを推進します。また、中空知定住自立圏における人口減少の克服、雇用創出、暮らしやすさや魅力の向上に対し、広域的な視点で取り組むとともに、国、北海道の施策と整合を図りながら施策を推進し、北海道内の各自治体や北海道との有効な連携を図ります。

今後、地域一体となってこの総合戦略を推進することにより、現在の若者たちや次世代の明るい未来を支える持続可能な滝川市を築いていきます。